たわら新聞 第52号

遊佐町共同開発米部会 広報部編集 平成25年2月

開発米部会　最優秀賞を受賞！

平成25年11月21日、山形県農業賞・水産業賞・ベストアグリ賞エコエリアやまがた推進コンクールにて表彰式が開催されました。遊佐町共同開発米部会は本年度のコンクールにて、最優秀賞を受賞しました。受賞にあたり部会長より一言頂いております。

山形エコエリアコンクールにおいて、遊佐町共同開発米部会が山形県知事最優秀賞を頂きました。長年にわたる消費者との交流と環境にやさしい農業が評価されたものです。この事は、先輩がたの努力を私たちの世代が受け継ぎ、長年の生産者の努力が認められたものだと思います。

日本の農政はここにきて大きく方向転換しようとするなか、山形県が私達の活動を認めたことは、今後農業を続けていく中で、生産者にとっては、大きな力になるはずです。

私たちの米作りは、化学肥料や農薬を減らしています。そのため、天候に大きく影響を受けてしまうことがあり、ここ数年は思い通りの収穫をとれませんでした。「だから、諦めるのではなく」この農法でも充分な収量を上げていく為の、農業技術の研究・開発に努めています。環境に優しく、基本収量があり、さらに食味の高い農作物を作ることをめざすことを改めて部会長をガンバッテいきます。

菅原　英児

生産者500人メッセージ

野沢上 高橋 修平（三十二歳）

皆様こんにちは。県立農業大学校を卒業し、就農してからはや二年が経とうとしています。現在、私が主に担当しているのがお盆出しの小菊と冬期間に収穫できる軟白ネギです。

今現在、水稲を経営している主体が父なので、機械の操作の仕方や栽培管理などを教わりながら農業に従事しているような形です。当面の目標は、私が担当している小菊、軟白ネギの安定した生産です。経営していく上でその年ごとにできるものにバラツキがあると収入に直結してくるので、防除の徹底や植え付ける時期、適期での収穫に念頭をおいて栽培したいと思います。

また水稲の分野も徐々に世代交代できるように父や祖父、地域の諸先輩方に教わりながら学べるものは学びより良い作物を栽培、出荷できるよう頑張りたいと思います。

〒999-8301　山形県飽海郡遊佐町遊佐広表6-1
遊佐町共同開発米部会事務局（JA庄内みどり遊佐営農課内）
Tel.0234-72-3234　E-mail.yuyou@ja.midorinet.or.jp
URL.http://www.midorinet.or.jp/yuyou/